

2

発達段階に応じた性教育の指導事項

		自 分 自 身 に 関 する こ と	体 の 発 育 ・ 発 達 心 理 的 発 達	
幼稚園		○大切な体 ・体の清潔 ・自分の性の認識	○自分の成長 ・自分の誕生の喜び	
		小 学 年	○男女の体の違い（学活） ・体の器官の働き	○わたしのいのち（道徳）
			○からだの清潔（学活） ○大きくなった自分（生活）	
		中 学 年	○毎日の生活と健康（体育） ○育ちゆく体とわたし（体育） ・二次性徴	○自分の成長の喜び（道徳） ・これまでの自分、これからの自分 ○自他の生命尊重
高 学 年	○新しい生命（理科） ・人のたん生 （選択した児童のみ）	○性の不安や悩み（体育） ・二次性徴や思春期における心の変化		
中 学 校		○性的成熟への不安や悩み（保健体育） ・二次性徴 ・月経・射精、受精・妊娠 ・受精のしくみと生命	○自己を見つめ、様々な心の変化の理解 ・思春期の心理的特徴（保健体育） ・性にかかわる不安や葛藤 ・性的欲求と性にかかわる適切な性行動	
		○私は思春期（保健体育）	○自分の信頼（道徳）	
		○性感染症・エイズの予防（保健体育）	○性の不安や悩みの解消（学活）	
高 等 学 校		○体の発育・発達の科学的理解・個人差の認識（保健・理科） ・思春期における体の発達の特徴、月経・射精など ・受精、妊娠、出産	○男女の生理的、心理的な違いの理解（保健体育） ・性意識の男女差 ・性衝動のコントロール ・性にかかわる意志決定や行動選択	
		○家族計画・人工妊娠中絶（保健体育）	○健康で望ましい性への価値観の確立（HR）	
養護学校		○性の悩み ○思春期問題	○性衝動のコントロール	

＜性教育の指導計画を作成する際、必要と思われる指導事項を示している。＞

男女の人間関係	家庭や社会との関連
○仲良く助け合う	○家族の助け合い ○性被害の防止
○友達をつくろう（道徳） ○だれとでも仲良く（道徳） ・男女が助け合い、仲良くする ・自他を大切にする	○さそいにのらない（道徳・学活） ・性被害の防止 ○わたしの家族（生活） ・家族の協力と助け合い
○みんな仲良く（道徳） ・性別にこだわらず互いが協力する ○男女仲良く（道徳） ・男女の感じ方、考え方の違いの理解	○人の嫌がること（道徳） ○有害な情報（学活）
○異性への関心（学活・道徳） ・男女の感じ方、考え方の違いの理解 ○異性の友達（学活・道徳） ・よりよい男女の友達関係の構築	○性の被害・加害（道徳） ・性被害の実態と回避の態度と行動 ○性による偏見・差別（道徳） ○病気による偏見・差別（体育）
○人間関係としての性に関する適切な行動（道徳） ・多様な男女関係 ・特定の異性とのかかわり ○男女間のエチケット・マナー（学活） ・人間関係のスキル	○自己を取り巻く社会環境や情報環境のとりえ方 ・性役割（社会） ・性の情報環境（学活） ・性的な非行・犯罪（学活） ・性の被害・加害（学活） ・家庭のはたらき（技術・家庭） ・エイズによる偏見、差別（道徳・学活）
○男女のお互いの人格の尊重（HR） ・自分の意志をはっきり伝える人間関係の構築 ○人間尊重や男女平等の精神に基づく人間関係の構築（HR・公民） ○自立した男女の人間関係（HR・保健体育） ・性行動に関する賢明な意志決定や行動選択	○個性への理解と人格を尊重した男女関係（家庭・HR） ・固定的な性役割にとられない結婚や家庭 ○社会生活の基礎・基本としての性と人権（HR・保健体育） ・セクシャルハラスメント ・エイズ及び性感染症の予防 ・性情報と性行動への主体的な判断 ・性の逸脱行為 ・性被害の対応
○人間尊重・男女平等	○性被害の対応

*色文字部分は、実践事例参照